

# 逗子の景観まちづくり

## 瓦版 第七十二号

二〇二一年七月十五日 次号は十月発行予定

編集 逗子市環境都市部まちづくり景観課

協力 NPO法人逗子の文化をつなぎ広め深める会

募集 逗子の景観スケッチや六百五十字以内の

景観に関するコラム等を募集しています。

二四九・八六八六

逗子市逗子五丁目二番十六号

「逗子市まちづくり景観課 瓦版係」

電話 〇四六・八七三・一一一一

ファックス 〇四六・八七三・四五二〇

[machi@city.zushi.lg.jp](mailto:machi@city.zushi.lg.jp)

### 『いろどり』

「小坪海岸」というバス停のそばに、ウツドデッキにそった長い花壇がある。

近隣に住むボランティアの方々年間を通して手入れをされており、春には春の、夏に

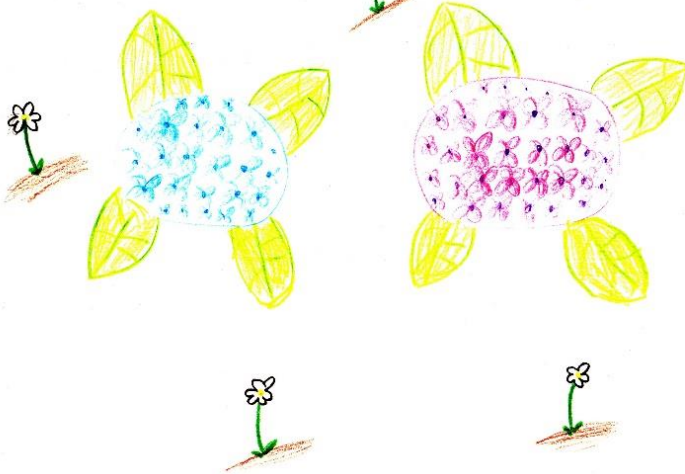
は夏の、季節の花々が美しく咲く。

娘が近所の保育園に通っていた頃、この花壇にはたくさん元気をもらった。ちいさな手を繋いでふたりで登園するとき、時に足を止めて花をめでたり、分かる範囲ではあるが、娘に花の名前を教えたりしていた。「きれいだねえ」と声を発するたび、受け取るばかりで申し訳ないと思いつつ、たくさんエネルギーをもらった。

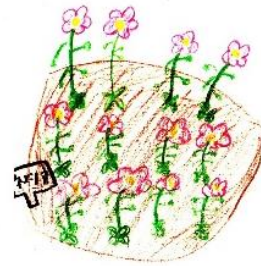
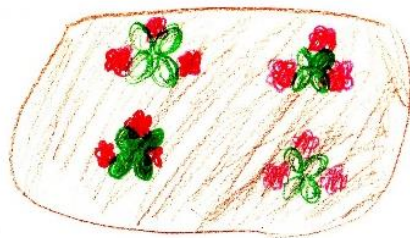
こどもが小学生になったタイミングで、参加できる日は花壇のボランティアに参加してみようかな、と思っただけのもの、手が離れたようでもまだ子育て真っ只中ではないのかと忙しく、なかなか参加することができていないのが正直なところだ。本当にわずかばかりだが、行けるときにだけひよっり顔をだし、土をいじり、雑草を抜き、親子ほど歳の離れたボランティアのみなさんと作業をする。この時間は、なんとも言いようのない不思議な時が流れる。仕事でもない、家の庭でもない、遊びや趣味とも違うからだ。

美しい風景を描こうと思う源は、美しいものが好きだからではなく、その環境を維持することで、守っていかれるものがあるのかもしれない。定期的に花壇の手入れをしてくださるボランティアの皆さんの想いは、花壇から、植物から、静かに発せられていく。美しい町の維持、通行中の

### いろいろなお花



NIMO (小学校3年生) 「いろいろなお花」



NIMO

NIMO (小学校3年生) 「花壇のお花」

人がふと花をめでる時間、会話、笑顔、エネルギー。それらが循環して、海辺の町の風景を柔らかく彩っていく。

文 小鳥 美茂

# 空き家バンクのススム



## 空き家バンクをご存知ですか？

昨今、全国的に問題になっている空き家。特に逗子市では急速に進む高齢化と共に、数が増えています。空き家は土地の資産価値が減少するだけでなく、虫・ゴミ・防災・防犯の問題、まちなみ・景観の乱れ、さらに地域全体の価値の減少にもつながります。

逗子市は2019年4月1日より空き家バンクの運用を開始しました。空き家を持っている人と借りたい人がそれぞれ空き家バンクに登録し、市がマッチングのお手伝いをします。

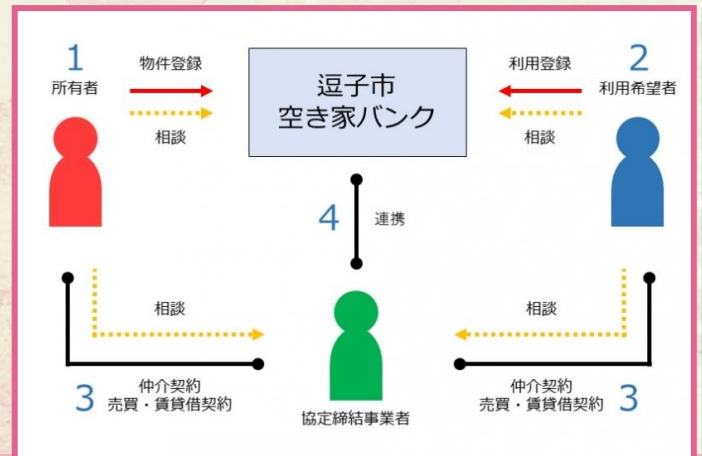
お持ちの空き家を有効に使うために、空き家バンクに登録してみませんか？

詳しくはまちづくり景観課まで↓

電話番号：046-873-1111（内線462）

逗子 空き家バンク

検索



<https://www.city.zushi.kanagawa.jp/syokan/machi/akiyabank.html>

## 空き家バンクを活用して新しい市民交流スペースが誕生！



活動中の様子

逗子市の「空き家バンク」に登録された物件は、登録者（桜山1丁目）の家の敷地内にある親が住んでいた建物。亡くなった後、そのままになっていたが、地域のために有効活用できないかと登録。一方、利用登録者は昨年2月末、逗子市民交流センター1Fから「エコ広場ずし」を撤収し、新しい拠点を模索していた市民団体「逗子ゼロ・ウェイストの会」。

2者は市の調整と「パブリックサービス」の市民貢献事業の助成金交付（※）に後押しされ、契約が進んだ。

4月25日に「SDGs ネットワークひなた」としてオープン。「エコ広場ずし」の活動だけでなく、市民や諸活動団体との交流を広め、SDGsの実践を更に深められるスペースにしていくという。「もったいない市」「エコワークショップ」「リペアカフェ」などに加えて、環境・お茶・文化・雑学などのカフェも新たに開く予定だそうだ。

### （株）パブリックサービスの市民貢献事業

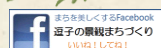
（株）パブリックサービスが、市民貢献事業として、空き家バンクに物件を登録した所有者（最大20万円）及び空き家を活用し、まちの活性化と地域活動の支援を行う事業者等（最大30万円）に助成金を交付する事業を設立しました。

本事業は民間事業者が空き家解消を目的とした逗子市との協定に基づき実施するもので、市は空き家バンクの運用と助成制度の広報及び受付をします。

詳しくはホームページを確認してください。詳細は（株）パブリックサービスまで ☎046-873-3500。



瓦版編集担当 逗子市環境都市部まちづくり景観課



逗子市HPやフェイスブックも見てね！

瓦版のバックナンバー・瓦版冊子は逗子市庁舎一階、まちづくり景観課窓口、市民交流センターに配架しています。